

平成 30 年度第 1 回霧島市子ども・子育て会議 会議要旨

開催日時	平成 30 年 5 月 26 日(土) 午後 2 時から午後 4 時
開催場所	霧島市こどもセンター 遊戯室
出席委員	鬼塚会長、松崎委員、山口委員、加倉委員、田間委員、谷口委員、基委員、川畑委員、中野委員、山下委員、外山委員、平原委員、二之宮委員
事務局	山口保健福祉部長、砂田子育て支援課長、市来子ども・子育てグループ長、富田保育・幼稚園グループ長、野村サブリーダー、出口主査、勝主事
公開・一部非公開又は非公開の別	公開
傍聴人数	なし
<p>協議等内容</p> <p>(1)霧島市子ども・子育て会議における平成 30 年度の取り組みについて(報告)</p> <p>(2)教育・保育施設利用状況(2・3号認定)について(報告)</p> <p>(3)教育・保育施設の整備及び定員の見直しについて(協議)</p> <p>(4)その他</p>	
<p>協議等における主な意見等の概要及び事務局からの回答</p> <p>(1)霧島市子ども・子育て会議における平成 30 年度の取り組みについて、事務局より配布資料(資料1)に基づき説明</p> <p>①(資料1の3(3)④仕事と家庭が両立できる職場環境の実現について)商工会議所等の協力を得て、調査等行っていく必要があるのではないか。</p> <p>②(資料1の3(1)②質の高い教育・保育の推進(質の確保)について)保育士等の確保が難しくなっている。質の確保のため、職場の環境や給与水準等、雇用環境も考えないといけない。近年の学生の質の変化に合わせ、養成機関における教育内容を見直す必要もある。</p> <p>③文書管理のIT化や業務の専門化等、業務自体の見直しを行うことにより、業務負担を軽減できるのではないか。</p> <p>④親同士の関係の希薄化等により、親が孤立感を深めている状況がある。親や子どもとの地域内での繋がりを強くしていくことも必要。</p>	

(2)教育・保育施設利用状況(2・3号認定)について、事務局より配布資料(資料2)に基づき説明

- ①165 人の内訳はどのようになっているか。また、園ごとの入所状況はどうか。
⇒4月2日以降の入所希望者は含まれていない。また、定員に達していない子ども園も複数ある状態。保育士不足もあると思われるが、新制度開始以降、運営基準よりも実際には多くの保育士を必要としている現状も影響していると考える。
- ②兄弟入所については同じ園に入所できているか。
⇒極力同じ園に揃えるべく調整しているが、園によって受入年月齢が異なること等あり、100%ではない状態。
- ③来年度から幼児教育の無償化が順次導入される見込みであり、中央の動向を見極めながら、32年度以降の支援事業計画における新たな計画数値を設定する必要がある。

(3)教育・保育施設の整備及び定員の見直しについて、事務局より配布資料(資料3・資料3別紙)に基づき説明

- ①定員変更や新規施設については、できるだけ定員増を要望していただきたい。
- ②保育園の民営化について、民営化することが不利益につながると保護者が誤解しているので、保護者説明会等を丁寧に行う必要がある。
⇒原案どおり承認。

<2時間10分>

事前配布資料

- ① 霧島市子ども・子育て会議における平成30年度の取組 ……資料1
- ② 教育・保育施設利用状況 ……資料2
- ③ 施設整備概要 ……資料3
- ④ 施設整備位置図 ……資料3別紙
- ⑤ 平成30年度保育所入所者・待機児童状況(H30.4.1現在) ……参考資料1